

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
国 語	古 典 探 究	4	2	文系GA	1～4組

教科書	「精選 古典探究 古文編」(三省堂)	副教材	「読解を大切にする 体系古典文法」(数研出版)
	「精選 古典探究 漢文編」(三省堂)		「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店) 「読んで見て覚える重要古文単語315」(桐原書店) 「新訂総合国語便覧」(第一学習者)

科目の目標	<p>1. 古典文学に幅広く触れながら、日本文化の特質と多様な価値観を知ることで、より多角的な思考力を身につける。</p> <p>2. 古典文学を読み味わいながら、内容・表現から思想や感情を的確に捉える力を養うことで、より分析的な読解力を身につける。</p> <p>3. 古典文学を通して、語法や文法などの日本語に関する知識を深めることで、より豊かな言語能力と表現力を身につける。</p>
-------	--

科目の概要	<p>多種多様な古典作品を読んで、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めたり、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高めたりすることで、読解力や言語能力向上を図る。また、日本と中国などの外国文化との関係について作品を通じて比較・考察することで、日本文化の特質と多様な価値観について学ぶ。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10の力	①「知識・技能」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観点の評価	○古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできたか。 ○古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができたか。	○文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができたか。 ○作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができたか。 ○古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができたか。	○文学作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、文学作品について自分の考えを持つことができたか。 ○同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりすることができたか。
評価の方法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、各学期末の平常点で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	【古文】 ・説話－『古今著聞集』「大江山」 ・説話－『宇治拾遺物語』「小野篁、広才のこと」 【漢文】 ・故事成語－『春秋左氏伝』「病入膏肓」 【1学期 中間試験】 5月20日～23日	【古文】 ・基本的な文法事項の知識を確認する。 ・基本的な敬語法について理解する。 ・話の展開と登場人物の心情を読み取る。 【漢文】 ・これまで学習してきた訓読の方法を確認する。 ・繰り返し音読をし、漢文のリズムになじむ。 ・話の内容に即して、登場人物の人物像を把握する。
	【古文】 ・随筆－『枕草子』「二月つごもりごろに」 ・物語－『大鏡』「三舟の才」 【漢文】 ・思想－『孟子』「無恒産而有恒心者」 ・思想－『荀子』「人之性悪」 【1学期 期末試験】 7月1日～5日	【古文】 ・敬語に注意して人物関係を把握する。 ・文法に留意し、適切な口語訳をする。 ・当時の宮中の様子や筆者の立場を理解する。 【漢文】 ・諸子百家およびその思想について学ぶ。 ・『孟子』と『荀子』における人間観を読み取る。 ・儒家・道家の思想が当時の日本に与えた影響について考察する。
2 学 期	【古文】 ・物語－『源氏物語』「北山の垣間見」 ・和歌－「和歌十六首」 【漢文】 ・史伝－『史記』「鴻門之会」 【2学期 中間試験】 10月15日～18日	【古文】 ・『源氏物語』の時代背景と作者紫式部について理解する。 ・登場人物の性格、立場、心情を理解する。 ・和歌表現の内容と方法についての的確に理解する。 【漢文】 ・作品の背景を理解し、それぞれの登場人物の立場や役割を読み取る。
	【古文】 ・物語－『大鏡』「花山天皇の出家」 【漢文】 ・史伝－『史記』「鴻門之会」 【2学期 期末試験】 12月2日～6日	【古文】 ・歴上の事実と物語の語られ方を知り、歴史物語の特徴を理解する。 ・登場人物の言動から、人物像やその心理を読み取る。 【漢文】 ・訓読のきまりに留意して的確に口語訳する。 ・登場人物の心理・性格について読み取る。 ・『史記』の文章表現をたどり、その豊かな文学性を味わう。
3 学 期	【古文】 ・日記－『蜻蛉日記』「うつろひたる菊」 【漢文】 ・小話－『世説新語』「三横」 ・小説－『捜神記』「売鬼」 【3学期 学年末試験】 3月4日～8日	【古文】 ・仮名日記の特質と文学史における展開を理解する。 ・当時の夫婦や家族のあり方を知る。 ・作者の心情を散文と和歌を通して読み取る。 【漢文】 ・重要な句法の用法を理解する。 ・長文を正確に把握する読解力を身に着ける。 ・古代の中国と日本の違いについて考察する。